

倒伏・籾数過剰に注意！

中干し継続で根を健全に！

6月の高温により、草丈が伸び茎数も増加しています。特に田植えや中干しが遅れたほ場では、倒伏や籾数過剰が懸念されます。中干しの継続とこまめな水管理で、根の健全化を図りましょう。

今後は高温が予想されています。そのため出穂期は「平年より3日程度早い」と予想されます。

1 6月30日現在のコシヒカリ生育状況（拠点12地点平均、移植日平均5月10日）

● 草丈（長） 茎数（やや多） 葉数の進み（並） 葉色（並）

区 分	本 年 値	生育目標値 比・差
草 丈 (cm)	57	117%
茎 数 (本/m ²)	534	107%
葉 数 (葉)	10.1	+0.1
葉 色 (SPAD 値)	38.8	-0.2

2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 中干しが遅れたほ場は大ヒビにならない程度にしっかり中干しする。
- (2) 中干しは「遅くとも出穂期 30 日前まで」に終了し、その後は常時湛水を避け、徐々に飽水管理に移行する。
- (3) 登熟期の高温に備え、ケイ酸質資材を積極的に施用する。ケイ酸質資材は倒伏防止効果が期待できる。
- (4) 幼穂長、生育量をこまめに確認し、穂肥時期・量を適切に判断する。
- (5) 今後の高温で斑点米カメムシ類の多発生が予想されることから、一斉草刈り(2 回目 7/14～26)を徹底する。

3 その他の管理ポイント

- (1) 出穂期は全般に平年より早い見込みのため、早生品種では分施の1回目穂肥を「遅れずに施用」する。

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう！